

## 整理・収納のプロに聞く！ キッチン収納達人への道

「キッチンをキレイにしたい」と考えた時、まず何から始めたらいいの？ というあなたのために。“今できること”を整理・収納のプロが教えます！

### 1 自分の理想を明確にすべし

誰が見てもキレイなキッチンと、作業効率のいいキッチンは収納方法がまったく異なります。前者はモノをすっきりとしまうことで、後者はモノを取り出しやすい位置に置くことで実現するもの。まずは理想のキッチンをはっきりとイメージすることです。

### 2 取り出すとき&使う時を考えて、収納すべし

「わざわざ〇〇する」という行動はムダ。例えばキッチンで使うタオル。洗面所にバスタオルなどと一緒に置いている家が意外と多いのでは？ でも使い勝手を考えると、キッチンで使うものはキッチンに置くべきなのです。タオルもキッチンに収納場所を作れば、わざわざ洗面所にとりにいく必要はなくなります。簡単なことですが、なかなかできていないもの。あなたの家はどうですか？

### 3 取り出しやすさは行動動線上にあり

扉の位置はもちろん、それが右開きか左開きか。利き手がどちらかによっても、行動動線は違ってきます。一度、キッチンに立つ自分をイメージしてみましょう（もし難しいようなら、調理中の行動をVTRに録画してみてもいいかも）。使うものを取り出す時、実際に使う時に、極カムダな動きをしなくて済むように収納することが大切です。

### 4 それぞれ理想の収納方法は違うと認識すべし

家族構成はもちろん、前述したように身長や利き手によって、それぞれ“使いやすい”収納は違います。例えばフライパン。一度にたくさんのフライパンを使って調理することが少なければ、タテに収納する方が効率的。でも一度にたくさんの料理を作る人は、一度にたくさんのフライパンが必要なので重ねていても不便は感じません。ライフパターンに合ったキッチン作りを心がけましょう。

### 5 理想のキレイ&素敵さは変化する！

独身時代、共働きの新婚時代、子育て時期、両親との同居や老後の暮らし…キッチンを使う人の生活スタイルが変化にともなって、キッチンにおける理想のイメージが変わるのはごく自然なこと。キッチンは主婦の日常そのものなのです。楽しく生活するためには、今の自分が一番心地いいこと、満足できる空間であることが重要。時々、使い勝手をチェックして、今の自分にとって“ベスト”なキッチンであるかを確認してみましょう。

※無断転記・転載・引用は禁じます



エコスタイル 代表  
整理収納コンサルタント 後藤えいこさん

札幌在住。2007年7月、整理収納アドバイザー1級に合格。08年8月より、整理収納アドバイザーを専業とする「エコスタイル」を主宰。09年3月に、上級資格・整理収納コンサルタントに道内で初めて合格。整理収納アドバイザー2級の認定講師の資格も取得し、定期的にセミナーを開催中。  
<http://www.ecostyle.cc/>